

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立滝川小学校の結果

～分析から見てきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	北
学 校 名	大阪市立滝川小学校
学 校 長 名	村上 昌志

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立滝川小学校では、第6学年 58名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立滝川小学校の結果概要

国語・算数ともに大阪市及び全国平均を上回る結果となった。

平均正答率は大阪市平均と比べ、国語は4ポイント、算数は8ポイント上回っている。

平均無解答率は国語が2.5%と大阪市や全国平均より良好であるが、算数は5.8%と大阪市及び全国平均と比較してとても高い。

児童質問紙に関しては、設問14「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の設問に対して「当てはまる」と回答した児童の割合は、81.4%で、大阪市平均より10.4ポイント、全国平均より10.6ポイント高い。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

「知識・技能」を構成する「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」、「思考力・判断力・表現力等」を見取る「話すこと・聞くこと」「書くこと」「話すこと」のいずれも大阪市平均を上回っている。全国平均と比較すると「話すこと・書くこと」のみ上回ることができなかった。学校全体で興味・関心をもったジャンルの本をたくさん読むように、読書時間を確保する取り組みの成果が表れていると考える。

【算数】

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」のいずれの領域も大阪市、全国平均より上回る結果であった。しかし、無解答率の高さや上位層と下位層が二分化していることから、習熟の程度に応じたきめ細かな指導体制づくりを検討しなければならない。

質問調査より

設問8「自分にはよいところがある」に対して「当てはまる」と回答した児童の割合は57.6%で、大阪市平均より8ポイント、全国平均より14ポイント高い。設問12「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して「当てはまる」と回答した児童の割合は89.8%と昨年より20ポイント近く上昇した。設問13「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対して肯定的に回答した児童の割合は78%と大阪市平均より4ポイント高く、令和11年度末の到達目標まで2ポイントまでに迫っている。

今後の取組（アクションプラン）

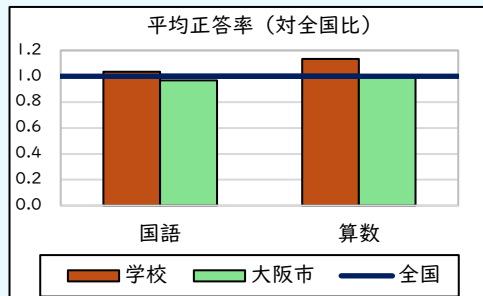
◇違いを認め合うことができる集団づくりをめざして

子どもたちにとってもAIやSNSがあたりまえとなった社会で、多様な考えに触れることにより、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と考える児童が多くなっている。また、「いじめ」を許さない気持ちも育ってきている。授業では、根拠を明確にして意見を交流し、最適解を見つけ出していく活動を多く取り入れるとともに、自分らしさを発揮しつつも、多様さを認め合うことができる集団づくりをめざしていきたい。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

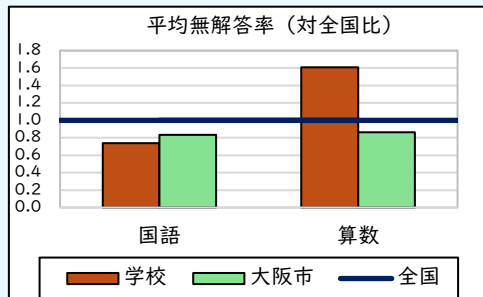
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	63	64
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



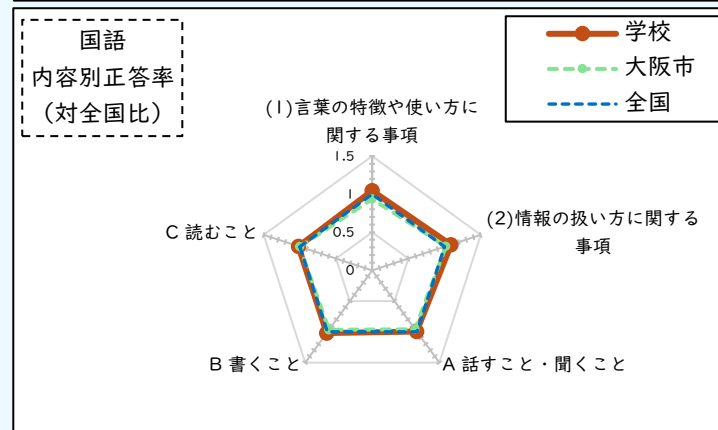
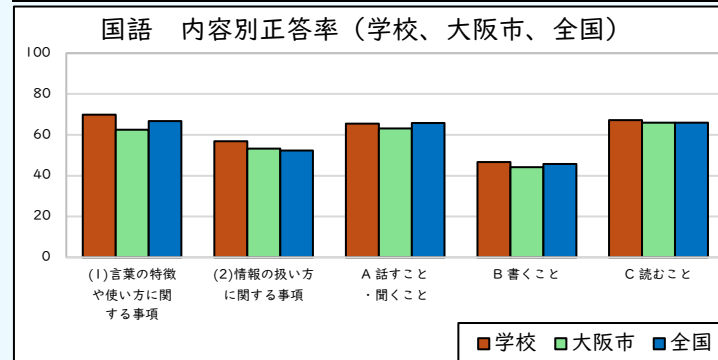
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.5	5.2
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



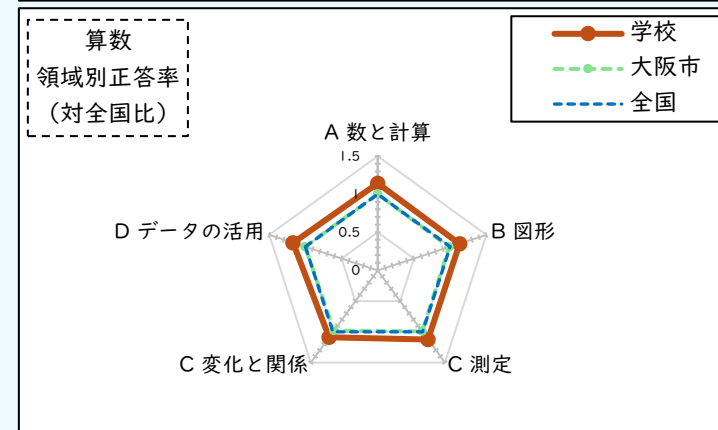
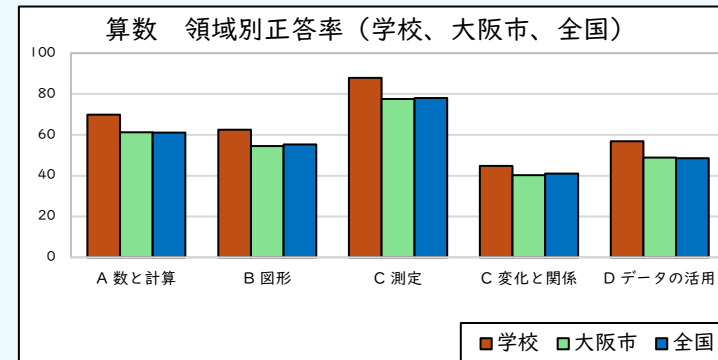
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	69.8	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	56.9	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	65.5	63.1	65.8
B 書くこと	2	46.6	44.2	45.7
C 読むこと	2	67.2	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	69.8	61.2	61.1
B 図形	4	62.5	54.5	55.3
C 測定	1	87.9	77.5	78.1
C 変化と関係	3	44.8	40.3	41.1
D データの活用	4	56.9	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

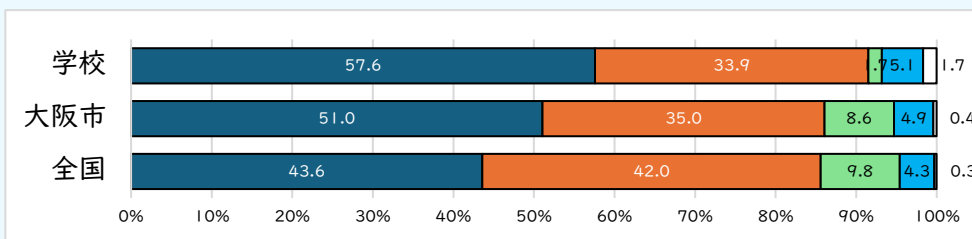
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

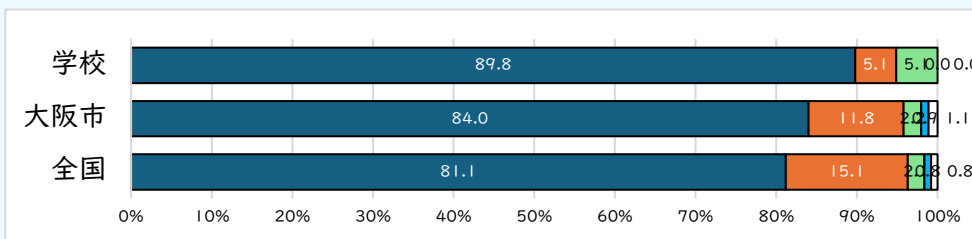
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



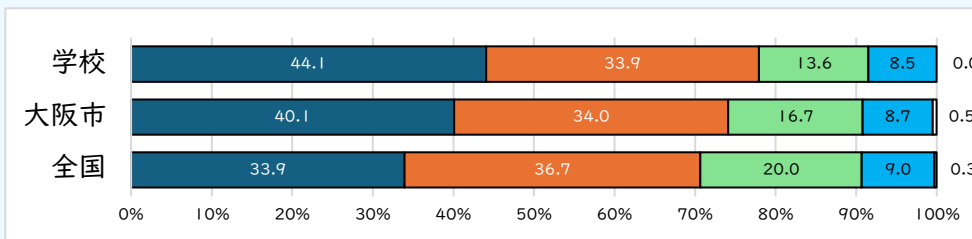
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
------	------------------------------



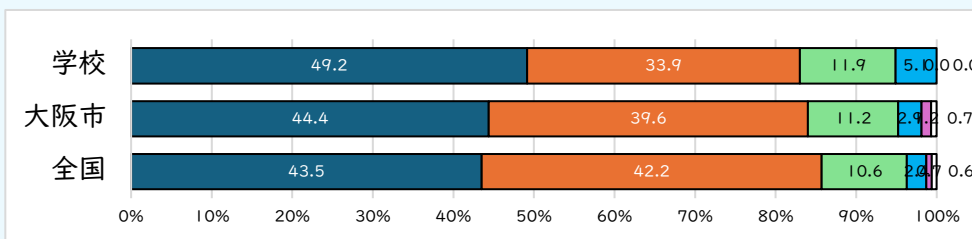
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
------	-------------------------------------



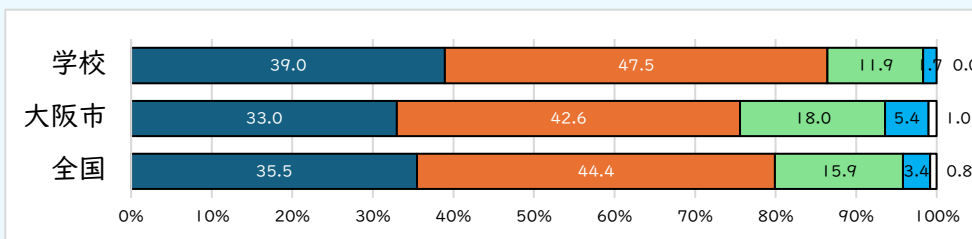
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(42)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
------	---



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

(47)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
------	--



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

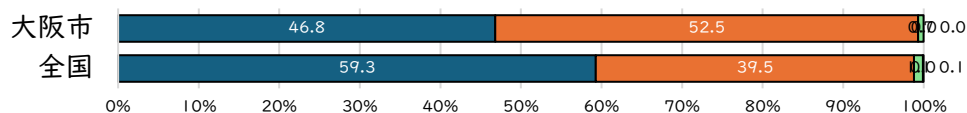
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

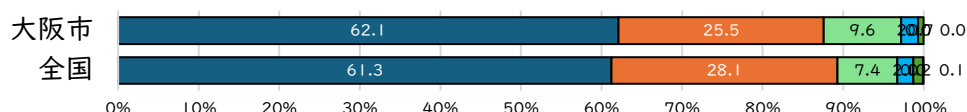


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(15)

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

【学校の回答】 2 月に数回程度行った

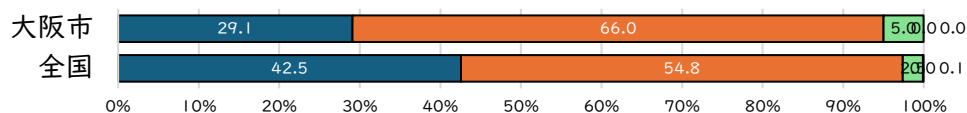


1 週に1回程度、または、それ以上行った
2 月に数回程度行った
3 学期に数回程度行った
4 年に数回程度行った
5 行わなかった
6 特に問題を抱えていなかった

(17)

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

【学校の回答】 1 よくしている

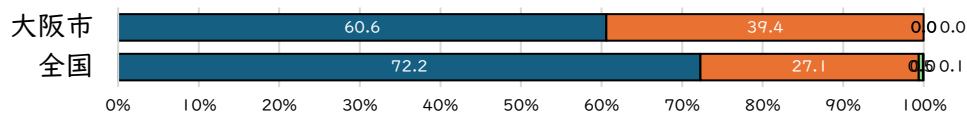


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(21)

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

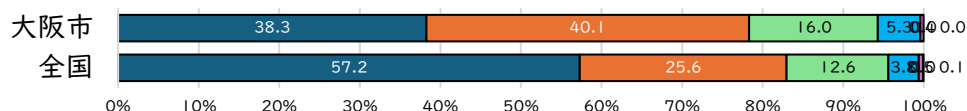


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(60)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）



1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満